

「 $Y = aX$ 」この方程式を知っていますか?

今話題になっている養老孟司著の「バカの壁」の中に登場する方程式です。著者は東大医学部の名誉教授であり、脳医学の第一人者です。医学の観点から脳の構造や機能を分析して、新しい角度から「人間の理解の法則」というものを語っています。

さて冒頭の方程式ですが
 Y : 出力、反応、行動 (入力情報に対して行動をおこなうことですが、頭の中で考えるだけの行為も反応であり出力となります。)
 a : 係数 (入力情報に対して、それが現実の自分の中でどれくらい重要性をもっているかを単に数字で表したものです。興味がある事は係数が大きくなります。)
 X : 入力 (脳への情報のインプットで五感からの全ての情報入力のこと)

つまり入力された情報は人それぞれの係数で反応の大きさが変わる、ということです。もちろん係数にはマイナスもありうる。マイナスの場合はマイナスの出力が発生する。例えば怖いものをみて卒倒するとかがそうですね。

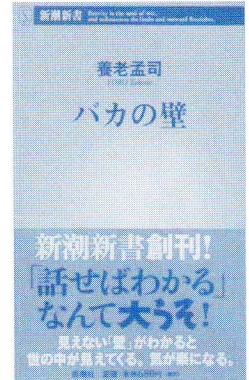
しかし、この中で筆者が最も言いたいのは「係数0」の場合です。「0」をかけたら「0」にしかありません。つまりどんなに素晴らしい情報も恐ろしい情報も「係数0」の人にとっては空耳にもならないのです。これがタイトルにもなっている「バカの壁」であり「無理解の壁」であるという訳です。例として学生に授業として「妊娠から出産までのビデオ」を見せた時に男子学生は興味を示さず、女子学生は多いに参考になった、と反応したそうです。男子学生には「自分には妊娠は現実でないもの」だった訳です。

年代の違い、宗教の違いなどなどで互いに通じ合えないのは、この「バカの壁」が立ちだけだっているせいだ、と知ることで気が楽になり、世界の見方が分ってくるのだそうです。

本の帯にこうあります。「話せばわかる」なんて大うそ!

コミュニケーションに悩んでいる人にはお勧めの本かもしれません。

牧野 光昌 (クイックファイブ)



ニューメキシコ州にて

サンタフェとはニューメキシコ州の州都であり、その標高は二千米ートルを超えます。

アメリカ国内旅行でも人気の高い場所と聞いておりますが、行ってみると会社のオフィスから高速道路の高架まで明るい茶色です。つまり建築物はそのインデアン風(Pueblo風)の雰囲気を保っているせい、またたく違った土地にきたという風情はありますが、ショッピングモールからレストラン、バー、そしてその周辺にたくさんのレストランが点在し、当初は果たしてどこにそんなインデアン(ネイティブアメリカン) 以来の歴史があるのかという印象でした。到着した日、バーへ入ってみますと、若いネイティブアメリカンの青年が話しかけてきました。「どこから来た」「サンタフェはどうだ」初めは普通の会話ですが、次第に従来先祖たちが住んでいた土地を白人により土地を追われ、今は保護地に追いやられてしまっている事、先のイラクとの戦争ではむしろイラク側を応援した事等、一貫して先祖が白人より受けた仕打ちに対しての怒りをへべれけになりつつ訴えていました。おそらくただ酔っていたのかも知れませんが、初めて会ったネイティブアメリカンの方から聞く話はアメリカの新たな側面を見る事となりました。そしてニューメキシコはアメリカの45%の産出量を誇るウラン鉱山があり、かの原子爆弾を開発したロスアラモス研究所もここにあります。小さな歴史博物館へも行ってみました。そこには原爆開発成功・投下を大きな成果としている形で扱われ、「見る視点」が変わるとこれほど違うものか、と半分拍子抜けし、また妙に物悲しくなりました。やはり私は唯一の被爆国である日本人だけにその反応も他のアジアの方たちとも違うのでしょう。現在核兵器は冷戦時代の遺物になりつつありますが、本当に過去の物として無くなって欲しいものです。サンタフェは広大な砂漠があり、青く大きな空は美しいですが、リゾートの顔と同時に歴史的な出来事でも人々に大きな印象を残している場所であると思います。

社長 森 直樹

naoki@morimatsu.net

『小差は大差』

社長が暮らしていた、ニューヨーク市は犯罪都市でも有名です。そのNY市で犯罪の件数がここ8年間で半分に激減しました。増えると思える犯罪が減少しているとは…不思議だと思いませんか？なぜ、なぜ、減少したのかなあああ。

警察官を増員し、パトロールを強化したわけではありません。では、NY市はどんな方針を打ち出したのか、答えを教えます。NY市が行ったのは、「地下鉄の落書きを消した」のです。落書きを消したぐらいで犯罪がホントに減るのかと思います。多くの人は、市の予算を使つて落書きを消してなんになるのか？そんな批判が相次ぐ中、地下鉄内の犯罪は確実に減っていました。その後、軽犯罪の取り締まりを強化していく事により、重犯罪の件数まで減つていったのです。

これは偶然ではなく理論に基づいて実行されたのです。こんな実験で証明しています。ナンバープレートを外し、ボンネットを開けたままの車を住宅街に1週間放置する実験です。2台用意して、1台はそのままで、もう1台はフロントガラスがヒビ割れた状態で放置すると、普通のほうは1週間たつてもそのままですが、ヒビを入れたほうは1週間後には、ほとんどの窓ガラスが割られ金目の部品は全部盗まれました。

このように小さな犯罪を放置しておくとかやがて大きな犯罪を引き起こすという理論です。結論として、小さい間違いを容認すると最終的に大きな損失を生む事になる。逆に小さな事に厳しくすることで大きな結果がついてくる可能性は飛躍的に高まります。



森松の皆さんも、コッコツやれる事から一つ一つ改善しましょう。

森 信之

『追っ掛け』

先日、村田さんが今でもプロレスの追っ掛けをしていると聞きました。私も30年前位追っ掛けをしていましたが、今はそこ迄のヴァイタリティーがなくなつたなあと、うらやましく感慨深いものがありました。私の場合は、クラシックのガイタレ（外国人のタレント）の追っ掛けでした。

今はなくなりました「名古屋飛ばし」と言つて、名古屋は入場者が少なく、公演がペイ出来なく、東京や大阪での公演のみで、名古屋は飛ばして帰国していつてしまうガイタレ公演の事です。この為聴きたいガイタレの来日公演は、内緒で会社を休んで（もう時効だからネ）東京や大阪迄聴きに行っていました。

又当時は、特にクラシックのガイタレの場合、絶頂期を過ぎ、本国や世界的なマーケットでは公演が出来なくなつた年齢的にも盛りを過ぎた来日公演が多く、演奏の出来・不出来が著しく、折角会社を休んで新幹線を使つて、時には一泊のホテル代迄掛けて聴きに行つてもガツカリして帰路に着く事もしばしばでした。チケットの購入も一苦労で、現在の様な全国ネットのチケットぴあ等がありませんでしたので、東京公演の場合は、立川に住んで居る姉に都内迄出掛けて貰つて買つてもらつたり、大阪公演の時は取引先の懇意にさせて頂いている方に御願ひしたり、と大変でした。

名古屋に県の芸術劇場が出来、海外の著名なオペラハウスの引越公演が年に何回も開催される様な昨今、公演内容を選んでチケットを購入出来る今、かえつてコンサートに出掛ける回数は減つてしまつたのは、もう一度、あの頃の情熱を取り戻さつと！



もう一度、あの頃の情熱を取り戻さつと！

上田 邦男（Σ-2008）

『百八十円ラーメン』

道を走っていると時々見かけるラーメン店、黄色い看板に赤い文字で、びつくりラーメン180円なる店が目が止まります。チェーン店である為、最近家の近所にも出店され、早速上の息子と行つて来ました。深夜の1時にも関わらず客足も好調のようで、味のほうはあつさり醤油味、可も無く不可も無くといったところ。別に驚く程の事でもありません。

しかし勘定を払う時になり本当に一杯180円であることに驚きました。看板にそう書いてあるのだから疑う余地もないのですが、一瞬30年程前にタイムスリップしたような錯覚を感じ500円玉を差し出すと、お釣りがラーメン2杯分と消費税を差し引き122円返つてきました。（30年前には500円玉も消費税も無かつたな）固定観念がある為でしょう、タバコも値上げし2つは買えない御時世にこの値段はびつくりします。思えば最近はお店が増えました。当初その値段と話題もそうしたお店が増えました。当初その値段と話題も手伝つて喜んで食べに行つたものです。今の時代は安くて当たり前イメージがあります。お店の方も価格競争でぎりぎりの利益を確保する為に大変な苦労があると思え、大丈夫かと、こちらの方が心配になります。しかし、国や行政が運営する事業で安くなつたという事を聞きませんね。税金という名目で負担がどんどん増えていく気がします。少しは見習つてほしいものです。あの通行料が高い名古屋高速などに、びつくり高速20円なんて看板立てたりして、違う意味でちよつと不安になるフレーズかな？



成瀬 勝英（レインボーⅢ）

新サークル紹介 第一弾!

クイックファイブ

4名のベテラン営業マンと1名のかけだしの5名の企画営業部員から成るサークルチームです。チーム名の由来は「何でも早く」を常に心がけているところからきております。まずは朝の出勤はみなさん早いです。仕事も食事もトイレも、クイックでがんばります。

『成功者への

六つの癖+α』

男の人にとって人生のひとつの夢、目標である成功者になりたい(出世したい)と望みますが、その成功者(出世した人)をよく観察すると六つの癖があるそうです。

- ① 学び癖
- ② 働き癖
- ③ 自主癖
- ④ 素直癖
- ⑤ プラス発想癖
- ⑥ 差し上げ癖

そして、クラブのママさんから見た成功者(出世した人)は

① 「気遣い」に尽きるそうです。

接する相手すべてを大切な人として扱い、取引先であれ、部下であれ、ホステスであれ真面目に話を聞いてくれる人。聞いているそのふりだけでも、人は心配事を聞いてくれる人が嬉しい。

② 自分の仕事をそっくり楽しむ人

たいていの人は一日の忙しさを上司の愚痴や苦勞語で自己弁護ばかりしているのに、仕事を楽しむ人は次々とアイデアが浮かび、やることがいっぱいあって、他人のことなど気にしてはひまがない。そのアイデアが実を結び成功へのチャンスとなる(勿論、仕事の實力がないとお話にならない...)。仕事も好きだが女も好きで、決してケチではない。お金の使い場を心得ていて、気前良く使う、すべて計算されているかもしれないがそれを感じさせない人。だからです。

「女の出世」はあまり聞きませんが、女は成功者になることが生きることの幸福にはならないと思うから。



森 ちか

(GMエキスパート)

2003年

8月の予定



2日(土) 第1土曜休み

4日(月) 誕生日会 12時00分

10日(日) 夏休み

17日(日) 夏休み

10日(日) 松本さん誕生日

14日(木) 福重さん誕生日

18日(月) 小坂さん誕生日

25日(月) 経営会議 7時30分

26日(火) 営業会議 16時00分

26日(火) 編集会議 18時00分

26日(火) 生産会議 18時00分

30日(土) 第5土曜休み



新企画! タイムマシーン

このコーナーは、時代を超えて、かつての波紋の紙面へタイムスリップするという新企画です。

第一回の今回は、1986年4月号の一面記事をご紹介します。

心機一転

机の配置を転換
四月一日より事務所の机の位置を大幅に移動しました。新入社員も合せて今後ともチームワークで頑張ります。

事務所 2F	森 ちか	森 信之	
岡田洋子	伊藤千治 (新人)	伊藤孝子	稲葉友昭
井上美加	富田美千代	永井しるま	伊東郁二 (新人)
安井浩二	橋本正子	大橋康成	岩間正美
牧野光晶	山口隆弘		時見賢一郎
木村英利	光田昭男	製造部	事務所 1F
吉岡孝紀 (新人)	孫田邦彦	西田聖一	宮本雅昌
		下塚紀一	長沢三三五

横山敏秋

第11回森松展日程決定

日時 平成15年10月23日(木) 9:00~17:30
24日(金) 9:00~17:30
25日(土) 9:00~17:00

場所 森松株式会社 本社5Fホール

テーマ:「WHY」が未来を創造する

サブテーマ:「見たい!聞きたい!そこが知りたい!」

※上記時間帯以外にご来場の方は担当営業マンまでご連絡下さい。ご案内させていただきます。

編集後記

毎年この時期になると暑さのせいもあり、だんだんと食欲がなくなつて、夏ばてになつてしまふので気をつけなといけないなと思います。

毎日暑い日が続き、ついつい冷たい物ばかりに手が出てしまいます。よくテレビなどで、暑い時に汗を流しながら熱い物を食べている場面を見る事がありますが、見ているだけで暑くなつてくるような気がしてしまいます。夏ばて防止の為に、こういう事もした方がいいのかなと思いましたが、今年こそ夏ばてにならないように気をつけたいと思います。

小坂 美香 (GMエキスパート)

